

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	交通安全啓発推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	交通安全フェアの開催や交通事故死ゼロを目指す日一斉キャンペーンなど、市内統一キャンペーンを開催することで、交通安全に対する意識向上を図り、交通事故防止を促進する。				
	29年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全フェア会場設営委託料 キャンペーン用資材購入費 啓発塔管理費 その他（交通安全フェアの開催、交通安全キャンペーンの実施など） 			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市民全体
意図（どのような状態にしたいか）	交通安全意識や交通ルール、マナーを守る意識を広める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
交通安全フェア開催日数	日			2	2	2
統一街頭キャンペーン実施回数	回			3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	交通安全フェア参加者数	人	目標値			36,000	36,000	36,000
			実績値			30,000		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 開催当日の天候の影響もあり、目標値の約8割に留まった。 (目標達成度)						(達成度) 83.3% 29点	
成果指標	統一街頭キャンペーン参加者数	人	目標値			8,000	8,000	8,000
			実績値			8,272		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を上回る参加者数となった。 (目標達成度)						(達成度) 103.4% 35点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,142	12,515	12,720	13,011
（事業費）	[円]	1,809	1,767	1,729	2,020
（職員人件費）	[円]	10,333	10,748	10,991	10,991

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

交通安全統一キャンペーンにおける従来型の無言キャンペーンの実施方法については、参加者の負担を増やさず、より効果的で実効力があるような方法を検討する余地がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

交通安全フェア及び交通安全キャンペーンは、広く市民に認知され参加者も多く、交通安全事業としての意義も大きいことから、より一層効果的な交通安全啓発の向上が図れるよう事業内容を工夫しながら実施する。
また、交通安全フェアのステージイベントの時間配分等は、共催している他の実行委員会及び参加団体等の意向や意見を踏まえ、今後のあり方について検討する。